

始良・伊佐地域青少年育成だより

発行
始良・伊佐地域青少年育成推進協議会
第47号 令和4年3月

〒899-5212 始良市加治木町諏訪町12
始良・伊佐地域振興局総務企画課地域振興係
TEL 0995-63-8109 FAX 0995-63-8108
HP 鹿児島県始良・伊佐地域振興局 健康・福祉→検索

始良・伊佐地域青少年環境づくり懇談会が開催されました！！

昨今の課題にそれぞれの立場から一言

12月2日(木)、始良・伊佐地域振興局の公会議室で県男女共同参画課、管内警察署、教育事務所等に協力を頂き令和3年度始良・伊佐地域青少年環境づくり懇談会を開催しました。

警察署から現在の状況を報告いただき「従来からすると補導（喫煙・深夜徘徊）の件数は半減してよい環境となりつつある。しかし、SNSに関するトラブルの相談が増えてきていることや大型スーパーや飲食店が、深夜の少年のたまり場となりやすい。少年補導は減少傾向にある」とありました。

教育事務所からは「インターネット利用等における調査」（令和3年度：保護者対象）結果を報告いただき、「スマートフォンを含む携帯の所持率は小学校、中学校とも率が上がっている」「平日におけるネット利用平均時間については小学生で1時間未満が52.0%、3時間以上が3.8%、ゼロが20.5%。中学生で1時間未満が46.8%、3時間以上が9.1%、ゼロが11.2%」となっており、ほとんどの児童生徒が何かしらインターネットを利用している。利用時間は年齢が上がるに連れ長くなる。3時間以上利用している割合（親の意識調査）前年の調査結果よりも低いのは「保護者が見ていない場所（自分の部屋、友人宅、外出先等）での利用もあるのではないかと推測される」とのことでした。また、携帯電話利用に関する家庭内ルール設定率は小学校88.5%、中学校89.1%と高い率になっています。

青少年育成コーディネーターの報告では霧島市の加治木正明さんから「太鼓活動を通して地域興しになればと日々奮闘している」など、現状と課題について話しがあり、また、湧水町の植林伸洋さんからは「町内の小学校でのカヌー教室、ネットトラブル等の未然防止、ゲーム依存の講演活動も行っている」ことなどについて、現状と課題について話されました。

当方では8月から11月にかけて実施した有害図書等に関する立ち入り調査の状況を報告しました。コンビニでの有害図書の有無から管理状況、刃物販売店での販売に関する表示や年齢確認等について販売側と確認をとりました。また、無人有害図書等設置場所へは設置場所警察署署員および県男女共同参画課の三者で確認するとともに、自販機設置業者への条例遵守指導について共通理解を図りました。



霧島市コーディネーターの加治木さん



参加者からの質問・意見

○ 「第44回少年の主張鹿児島県大会」の作文募集！

本年度は、本地区から本県代表者に選ばれ、九州地区大会に出場する素晴らしい成績でした。来年度も作文を募集します。引き続き入賞を目指して、多数の生徒の皆さんが応募してくれることを期待しています。

★ 作文の内容等詳しいことについては担当の先生に聞いてください。

ご高覧の皆様、自分の周りの中学生に応募するように是非声かけをお願いします。
提出期限・提出先は、各中学校へ聞いてください。



令和3年度『強調月間』取り組み 各市町でイベント等開催し大成果！！



霧島市霧島地区では、子ども会会員や指導者・育成者がともに集い、郷土への理解と愛着心を深め、異年齢活動を通しての連帯感や協調性を学ぶ場とした「河原でキャンプごっこ」を催しました。

日頃体験することのない活動を通して、豊かな想像性を培うとともに、子ども会活動の一層の充実と魅力を発信する場となりました。

また、砂防や山の構造について学んだ後、河川敷で飯ごう炊飯、霧島川についての講話、ごみ拾い等を行い、異年齢での活動の楽しさや川遊びなどの体験を通じて、児童生徒、保護者間の交流を深めることができました。



山ってどうなってるのかな？
講師 (株)窪田工務店 窪田功司 さん

<参加者>

年 長 1名、小学生 10名、中学生 9名
保護者 9名、子連役員・職員 9名 計38名

始良市重富校区コミュニティ協議会では、コロナ禍でも出来る方法を模索しながら、重富小学校の児童に郷土愛・地元愛を養ってもらう体験学習を計画し、異世代での交流「けんのひら塾ミステリーバスツアー」を開催しました。

屋根のないオープンバス「かごんまそらバス」で、行先は秘密のミステリーツアーとし、当初の予定は11月6(土)でしたが、雨の為11月23日(火祝)に延期しての開催となりました。参加者は「けんのひら塾」の児童、講師、協力いただいた地域の方々、コミュニティ協議会役員の合計58人が参加となりました。

【運行のコース】

重富小学校(9時/10時半出発)→ 始良IC → 高速九州自動車道 → 鹿児島北IC → 国道3号 → ザビエル公園 → 西郷銅像 → 御楼門 → 城山展望台 → 仙巖園 → 国道10号 → 重富小学校(10時半/12時到着)



バスの前での集合写真

【強調月間中における各市町の主な取り組み】

市町名	主 な 取 り 組 み 事 項
霧島市	○まきぞのおもしろ探検への取り組み活動 ○「青少年育成の日」の実施 (福山地区) ○河原でキャンプごっこ！ ○相談体制の充実
伊佐市	○石井鎌手踊り指導 ○交流グラウンドゴルフ大会 ○食農教育の推進 ○南永っ子フェスティバルの開催 ○ペットボトルロケット大会 ○伊佐さわやかあいさつ運動 ○芋堀り交流会 ○標語入賞者表彰式
始良市	○AIRAふるさとチャレンジャー ○ジュニア・リーダークラブ活動 ○コミュニティFMとの連携 ○サイエンスあいらんど ○あいらっ子あいさつ運動標語募集
湧水町	○ひと声添えたあいさつ運動の依頼 ○郊外生活指導連絡協議会 ○パトロール強化

春の「郷土に学び育む青少年運動」期間中！！

来る3月11日(金)から4月10日(日)までが春の「郷土に学び・育む青少年運動」の実施期間となります。各市町教育委員会や青少年育成市町民会議等の計画で、色々な活動等が展開されると思います。関係者の皆様や団体のお力添えご協力をよろしくお願ひします！

かごしま地域塾「優れた地域塾」に新たに5団体を認証！！

去る2月20日（日）に「かごしま地域塾活動活性化セミナー」が、開催される予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、方法を変更しての開催となりました。その中で、本年度は4つの団体が「優れた地域塾」として認証されました。その認証団体を紹介します。

「優れた地域塾」として新たに認証された団体

地域塾名	代表者名	構成	主な取り組み
悪石島子ども会 (十島村)	久永 美代	小 6人 中 3人, 他 21人 計 30人	・対馬丸慰霊祭の開催・清掃等 ・盆踊りや伝統芸能継承等 ・空き缶・空き瓶のリサイクル 等
指宿市ジュニア・リーダークラブ「Bisuky」 (指宿市)	下川床 泉	小 0人, 中 5人 高 11人, 他 1人 計 17人	・毎月1回の定例会 ・中高生ふるさと集い・温泉まつり ・生涯フェス等への参加等
王子町鉦踊り・銭太鼓 保存会 (鹿屋市)	山藺 謙一	小 15人, 中 15人 高 5人, 他 97人 計 132人	・豊作祈願水神祭での奉納 ・わらじ, 銭太鼓作り ・小学校出前授業 等 (普及啓発)
出花字子ども地域塾 (和泊町)	東 亜希子	幼 4人, 小 9人 中 4人, 高 3人 他 20人 計 40人	・伝統芸能(三味線, 歌, 踊り等)練習 ・「出花ヤッコ」練習 ・郷土料理, 海岸清掃, 黒糖作り体験

始良・伊佐地域人財確保・育成事業 「放課後みらいラジオ」

「始良・伊佐地域人財確保・育成事業」では、始良・伊佐地域の中高生が、経営者や採用担当者など働く大人の話聞き、地元企業や産業に触れる機会をつくるとともに、将来の就職について考えるきっかけを作るためのラジオ番組、「放課後みらいラジオ」を実施しました。

令和3年度は12月27日（月）、1月6日（木）、1月7日（金）の3日間で6つの企業・事業所を訪問しました。

参加した生徒からは、「地元を離れるつもりだったが、話を聞いていくうちに、地元で働いている人を手伝って笑顔にしてあげたいと思った。」「地元の職業も調べてみたい。」等の意見があり、将来を考えるきっかけになったのではないかと思います。

右のQRコード（あいらびゅーFMのYoutubeページ）から、取材当日の様子や放送内容を見ることが出来ますので、是非ご覧ください。



霧島造林



農業組合法人エコファーム永池



蒲生小 蒲生郷おかべ会 ～里山森林環境体験学習～

蒲生小学校では、3年生を対象に里山森林環境体験学習を行っています。校区内にある自然を体験し、五感を磨き、自然に感謝し、郷土を愛する子供を育成することが目的です。蒲生郷おかべ会【地域の活性化や青少年育成指導を行うことを目指す有志の集まり（事務局長：野村利憲氏）】の約10数名の方々に計画、準備、当日の運営など全面的に支援していただき、今回で10回目になります。

今年度は、11月26日に行いました。里山は本校から約1kmほど離れた場所にあります。子供たちは、豊かな自然の中で椎茸収穫体験、カブトムシの幼虫観察、大型ブランコやネットクライミングなどアスレチック、自然についての講話を受けるなどの活動を行いました。また、お昼ご飯も準備していただき、子供たち自作の竹箸・竹皿でカレーライス、採ったばかりの椎茸の天ぷら、スープなどを自然の中で思いっきり満喫した一日になりました。活動を終えた後の子供たちの満足した笑顔がとても印象的でした。

（蒲生小教頭：川畑智巳氏）



轟・おどろき地域塾の活動 ～カヌー教室等の活動から～

湧水町の「轟・おどろき地域塾」では「轟カヌー教室」、「そば打ち体験」、さらに年末には「年末子ども夜警活動」、また年始では「陣ノ岡 初日の出拝賀式」、「各子ども会鬼火焚き」を実施しています。コロナ禍の中での活動はいろいろ壁があり、対策をとって自分たちの住んでいるこの地域の生活を体感しながら満喫しています。

湧水町轟には国民体育大会の会場に指定されている川内川「轟の瀬」があり、夏場にはオリンピック候補選手も合宿に来る素晴らしい所があります。国体やアジア大会などで優勝経験のある神田橋貴子さんから地元の子供も達にカヌー教室を開いて指導をしていただきました。ここは鹿児島国体と次年度の佐賀国スポの大会会場となる予定です。

そば打ち体験も実施しています。ここ2年ほどコロナ感染対策から実施できていませんが、子ども達はとても楽しみにしています。

その他、「伝統芸能の練習」「校区球技大会」など地域ならではの体験活動を組み入れています。

（塾長：植林伸洋氏）



本城校区コミュニティ協議会 ～おきな草絵手紙コンテスト～



本城校区では、毎年この時期に春を呼ぶ花として「オキナグサ（翁草）」を使って絵手紙コンテストを実施しています。オキナグサは絶滅危惧種に指定されていて、大切にしなければならない貴重な花です。花言葉は「何も求めない」「奉仕」です。（GreenSnap編集部より）

本城校区コミュニティ協議会では令和3年12月から令和4年1月の応募期間を設け募集をかけたところ、伊佐市内外から557点の応募をいただきました。幼小中学生の部で198点、一般の部で359点と「おきな絵手紙コンテスト」が市民、県民に広がり定着しつつあります。このコンテストの良いところは、言葉添えがそのときの世相を良く表している所です。そのため、今年の中には「ただ会えるだけでいい」「コロナに負けじ今年も咲いたど」「故郷恋し姉ちゃんに会いたいな」というのがありました。また、小学生の部で「えんぴつが短くなるまでがんばる」というのもありました。

山ヶ野金山史跡めぐり ～ボランティアガイド体験～

霧島市横川地区とさつま町の境界付近に位置する山ヶ野金山は、日本三指に入る金山で、寛永17年（1640年）に発見され、以来、昭和28年まで三百余年にわたり操業されてきました。

「故郷の魅力を知ってほしい」との思いから、平成13年度に「第1回黄金の郷山ヶ野史跡めぐりウォーキング大会」が開催され、以来、毎年恒例の大会になっていましたが、第21回目を迎える今回は、新型コロナウイルス感染症の急激な拡大によるまん延防止等重点措置の期間中にあつたため中止となりました。

この山ヶ野ウォーキング大会の特色としては、コース内に点在する数々の史跡の説明を横川中学校の生徒の皆さん（1・2年生主体）がボランティアガイドとして参加しているところです。

生徒たちは、12月の月上旬から準備に入り、現地での研修や説明文の作成、発表の練習を積み重ね本番に臨みます。残念ながら今年の大会は中止となり、大会参加者への史跡ガイドとしてのおもてなしはできませんでしたが、山ヶ野金山の歴史や史跡を知ることにより、生徒たち自身が故郷の魅力を再発見できたのではと思います。



令和3年2月の活動から

青少年育成コーディネーターが行く !!

管内において、現在9名の青少年育成コーディネーターが委嘱され、日々積極的な活動を展開されています。本年度も、コロナ禍で各地域における青少年育成関係のイベントや活動が自粛の傾向や制限されるなか、三密を避けるなどの工夫をしながら、青少年の育成に尽力されている皆様には本当に頭の下がる思いです。その中での活動をお二人を紹介します。

◆霧島市青少年育成コーディネーターの加治木正明さん

加治木さんは昭和58年度に子ども会の役員（現在：市子連顧問）を皮切りに子ども達の日常に何かできないか模索し、平成12年「やまびこ太鼓」グループを結成し、青少年の健全育成、地域興し、ボランティア活動を継続しています。その間にグループを卒業した子供は80人におよび、太鼓演奏活動は140回を数え、いろいろな祭りや大会等の盛会に華を添えてきました。太鼓活動を通じた「忍耐、感謝」などの成長には欠かせない体験活動を日々いろいろ展開されています。

現在の課題・悩みについて伺いますと「平山小学校の児童数（現在9人、地元1人）」、「太鼓メンバー（現在、子供8人、大人6人）」の確保であると熱く思いを語られました。

平山の地域の特性や地元地域との交流は他では味わえない密の濃いものがあると心の声が聞く者の心に伝わってきました。



pixta.jp - 24436614

◆湧水町青少年育成コーディネーターの植林伸洋さん

植林さんは「KYT（危険予知トレーニング）」や「ネットトラブル等の未然防止」「ゲーム依存」などの講演活動を町内外の学校等で児童生徒や保護者の方々に対して実施されています。※ちなみに植林さんはKYT（危険予知トレーニング）上級指導者です。上級指導者は鹿児島県に2名（全国35名）となっています。

現在の課題・悩みについて伺いますと「子ども達の活動中の『怪我』を少なくするために、KYT（危険予知トレーニング）を行っていますが、今の子供たちは、スマホやパソコン（情報機器）などによるネットトラブル』が大きな課題になっていて、そのような問題に遭わないようにどうするか活動も行っているところだ。

また、町内の小学校で「カヌー教室」も実施されており、「いつかは湧水町（鹿児島県）から、カヌーの国体・オリンピック選手を育てたい」と希望を持たれています。



毎月19日は、「食育の日」「育児の日」です。
みんなで食の大切さを理解し、栄養バランスを
考えた食事に努めましょう。また、子育てをしやすい
環境作りに力を入れ、子育てを応援しましょう。